

軍・大使館・外資系企業ニーズに合致した世界基準！ プロフェッショナル 記憶媒体破壊機のデファクトスタンダード

この製品（DB-80SSD）は専用油圧モーターを搭載、HMC（ハイドロリック モーション コントロール(特許)方式によりSSD等の各種ストレージメディアを 40本のパンチャーが押し込みながら、パンチ&ベンド&ワッフル方式の3つの物理破壊方式で、米国NSA/NISTに完全に準拠した物理破壊が可能です。（特許取得）

SSD等のフラッシュ系メディアは、フラッシュメモリーを40カ所の貫通多点破壊（クラスター）に対応、HDD1~2.5インチ/CD/DVD/BLD/ZIP/MO/スマートフォン等、他種（業界一）のストレージ&リムバブルメディアに対応するプロフェッショナルSSD/電子記憶媒体の物理破壊装置です。（特許申請済み）

破壊時間はわずか1サイクル10秒、動力性能・700ワットを達成しました。

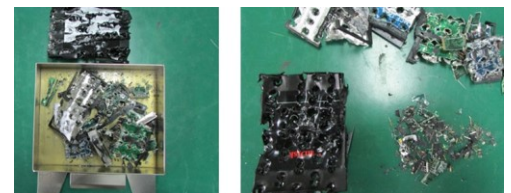
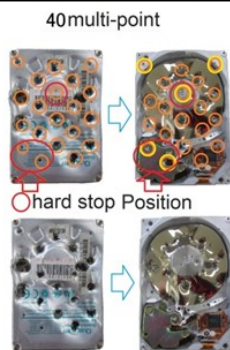
5 W2H2C ハイリスクアプローチ、詳しい仕様は取扱説明書を参照ください。

データ抹消セキュリティツールとして政府・金融・研究・医療・教育・外資系企業など、よりセキュアな ISO15408,ISO27001等、データ物理破壊を希望される各機関・企業様のご要望にお応えいたします。

世界28ヶ国に輸出、DATA DESTROYER No.1 3年保障or本体 50,000回(アダプタは含まず)



DB-80SSD



(フラッシュメモリーを2mm角)

詳しい仕様は取扱説明書（PDF webダウンロード可能）を参照ください。

個人情報保護・マイナンバー制度でのデータ消去ハイリスクアプローチの概要

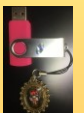
データ消去の落とし穴 とは。
データの物理破壊証明が必要です！

個人番号や納税記録等の特定個人情報ファイル（レベル3）を廃棄する際は、ハードディスク（HDD/SSD）等の記憶媒体を自らが破壊するか、これらの作業を委託する場合は、委託先が確実に物理破壊し廃棄したことを立会いのもと証明書などで確認するよう定めています。



国際特許：物理破壊装置の運用管理、破壊証明書発行トレースアドオン CDソフト(DSC-AOS 4-CD/USB)

* 日東ホルカム(株)扱い（オプション） 詳細はお問合せください。
日東造機(株)、及び日東ホルカム(株)は物理破壊装置の運用と破壊証明書発行の廃棄トレーサビリティを管理する特許を取得しています。



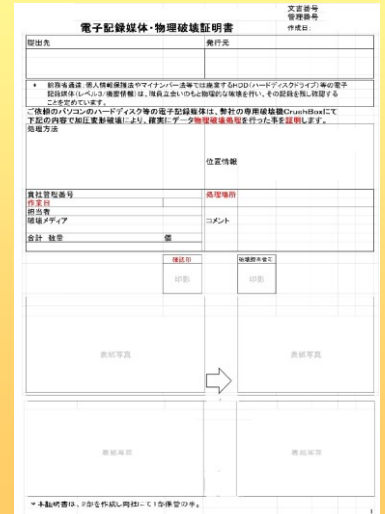
泣くに泣けないSSD廃棄での失敗！

SSD/HDD(ソリッドステートデバイス)を写真のように粉砕しているのに、情報漏洩の心配はありません。ご安心してください・・・！？。ところが、破砕した写真は誰のものか、何であつたのかも分らずセキュリティ対策ではない。



この方法は証拠隠滅ともとれ、個人情報保護法・マイナンバー法が定めるデータ消去と廃棄証明(履歴管理)と言えない。また、第2類の可燃性金属(鉄粉、金属粉、マグネシウム)のシュレッダー粉砕は消防法政令で危険物として定められています。

総務省が定めるガイドラインは物理破壊完了証明とトレーサビリティの両立です。



概要

	仕様
対象メディア	2.5インチSSD(mSATA,M.2)/HDD CD,DVD,ZIP,MO,CF,スマートフォン等(バッテリーは外してください)
破壊方式	40ポイント多点圧壊とV字折り曲げ破砕(セキュリティレベルに合わせた破壊(DB-OP-DoD)が可能最大80ポイント(裏表))
圧壊力	8トン(40ポイント)
安全・安心	各種安全インターロック機構を搭載。ハイドロリックモーション機構(特許)
寸法	220X442X420mm
重量	32Kg
破壊時間	約10秒(1サイクル)約15秒(2サイクル)
電源	AC100~120V(*AC200~240V) 5A
マーケット	オフィス,官公庁,データ消去サービス

DB-80SSD-E

The NITTOH Crush-Box SSD Destroyer (DB-80SSD-E) physically destroys computer SSDs and other solid-state media including, circuit boards and memory cards.

Complies with DoD, NSA & NIST standard

- Model No. : DB-80SSD-E
- Easy operation Hard Disk (2.5)&SSD Destroyer.
- Destroy HDD/SSD in 15~ 20/ sec.
- 2.5"HDD / SSD and storage media physical destroyer, CD/DVD/BLD/MO/Smart Phone/CF/USB are available.
- Destruction method: Automatic Hydraulic (HMC)Pressure.
- Application of pressure: 8 tons.
- Operation System: 1 cycle: 40 holes / 2 cycle: 80 holes.
- Destruction Time: 15~20/sec..
- Supported languages: Japanese/English/
- MAX number of continuous operation: 200 units.
- MAX number of operation per day: 1000 units.
- Dimensions (WxHxDmm): 305 x 220 x 380 mm
- Weight (kg): 32kgs



No.1 best selling destroyer in Japan and Asia!



DB-80SSD-E

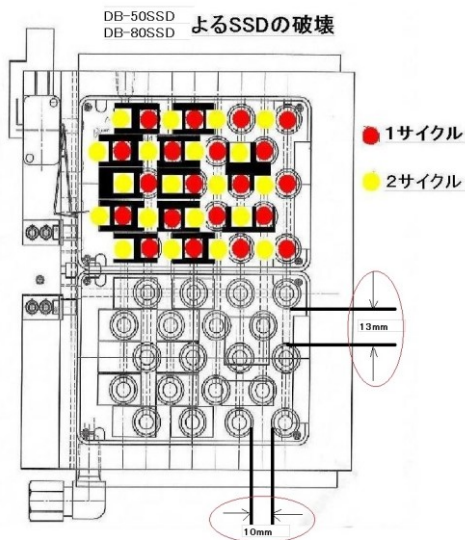


Specification list	
Ambient operating temperature: 5~40 °C	Voltage fluctuation: +10%, -10%
Relative humidity: Maximum 80%	Overvoltage Category II according to IEC60664-1
Altitude: Up to 2000m	Pollution Degree 2 according to IEC60664-1
Temperature at transportation and storage: -25~55°C	Equipment Weight: 32kg
Electrical Rating: AC200V-AC240V 50/60Hz 5A	Acoustic Noise: 76dBA(A) at no load
Low Voltage Directive, 2006/95/EC	EMC Directive 2004/108/EC
Size: 380(H) 220(W) 460(D)mm	Cycle Time: 10 sec(1 Cycle) 20sec(2 Cycle)
Export packing: UF1 640(H) 380(W) 520(L)mm 43kg	Maintenance/Longevity: 100,000 Cycles

地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドラインを改定

分類 [㊦]	機器廃棄等の方法 [㊦]	確実な履行を担保する方法 [㊦]
(1) マイナンバー利用事務系の領域において住民情報を保存する記憶媒体[㊦] * マイナンバー利用事務系：社会保障、地方税、防災、戸籍事務等に関する情報システム及びデータ[㊦]	当確媒体を分解・粉碎・溶解・焼却・細断などによって物理的に破壊し、確実に復元を不可能とすることが適当である。 なお、対象となる機器について、リース契約により調達する場合においても、リース契約終了後、当該機器の記憶媒体については、物理的な破壊を行う。この場合は、予め仕様に明記のうえ、機器の廃棄方法を契約において明記することが望ましい。	職員が左記措置の完了まで立ち合いによる確認を行うほか、庁舎内において後述(3)で記述する情報の復元が困難な状態までデータの消去を行った上で、委託事業者等に引き渡しを行い、委託事業者等が物理的な破壊を実施し、当該破壊の完了証明書により確認する。当該完了証明書については、破壊の証拠写真が添付されるとともに、その提出期限が定められていることけすが望ましい。
(2) 機密性2以上に該当する情報を保存する情報記憶媒体(上記(1)に該当するものを除く。)[㊦]	一般的に入手可能な復元ツールの利用を超えた、いわゆる研究所レベルの攻撃からもたえられるレベルで抹消を行うことが適当である。 具体的には、①物理的な方法による破壊、②磁気的な方法による破壊、③OS等からのアクセスが不可能な領域も含めた領域のデータ消去装置又はデータ消去ソフトウェアによる上書き消去、④ブロック消去、⑤暗号化消去のうちいずれかの方法を選択することが適当である。	庁舎内においては後述(3)で記述する情報の復元が困難な状態までデータの消去を行った上で、委託事業者等に引き渡しを行い、抹消装置の完了証明書により確認する方法など適切な方法により確認を行う。
(3) 機密性1に該当する情報を保存する記憶媒体[㊦]	一般的に入手可能な復元ツールの利用によっても復元困難な状態に消去することが適当である。[㊦] 具体的には、(2)に記述した方法①～⑤のほか、OS等からアクセス可能な全てのストレージ領域をデータ消去装置又はデータ消去ソフトウェアにより上書き消去する方法がある。[㊦] OS及び記憶装置の初期化(フォーマット等)による方法は、HDDの記憶演算子にはデータが残った状態となるため、適当ではない。	庁舎内において消去を実施し、職員が作業完了を確認する方法など適切な方法により確認を行う。
* 上記(1)は、オンプレミスの場合を想定したもの(ハウジングやプライベートクラウドを含む)[㊦]		

図表2-4 情報の機密性に応じた機器の廃棄等の方法[㊦]



SSD物理破壊の不適切な選定で、重大なインシデント(事故)になった事例をしばしば聞くようになりました。そこで、市場に参入している事業者の破壊レベルを調べたところ、不完全な破壊SSDが多く発見されました。

ケース入りのSSD破壊は、左記の画像のDB-80SSDのように40箇所以上の貫通破壊が最も有効な破壊手法で、当社は2010年 世界で初めてSSD大量破壊用途の専用機を米国ラスベガス(CES2010)で発表しました。(NSA/NISTのガイドライン/ワッフル手法のモデルとなる)

日東ホルカムのSDGs紹介動画
HDD/SSD/携帯、スマートフォンの物理破壊

スマートフォンやタブレットのデータ抹消(動画・20分)→



ハイリスクアプローチの考えは・・・。

Who(だれが)、When(いつ)、Where(どこで)、What(なにを)、Why(なぜ)、How(どのように) + High risk(ハイリスク) + Cost(コスト) + Communication(コミュニケーション)

「ハイリスクかもしれない対策」とは？

「かもしれない対策」は「だろう対策」とは違い、常に危険意識を持って行う対策で、あらかじめ何かが起きた場合のことを念頭に、重大事故が起きる前に、可能性を考え心の準備をしておくことで、確実な対策が行える。

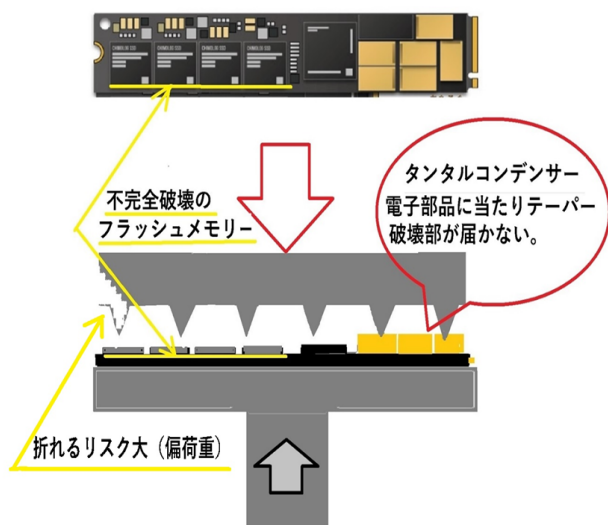
SSD等のフラッシュメモリーをケースごとベンド(折る)しても、破壊できないメモリーチップが残り、重大な不完全破壊のヒヤリハット事例が多く発生しています。

プロフェッショナルSSD破壊機 DB-80SSDとDB-60PRO-HS及び DB-70B-HSはパンチ(押し込む)、ベンド(折る)、ワッフル(蜂の巣)3つの圧壊で、確実な破壊が可能です。(NSA/NIST完全準拠)

テーパプレートを押し込む方式は完全破壊はできません。

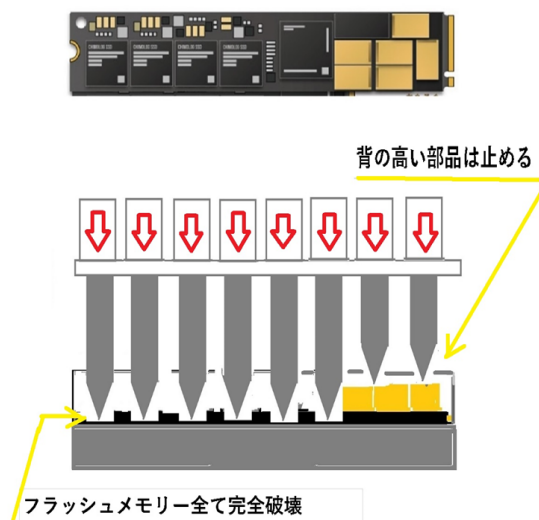
(A社・S社)

電子部品に当たりテーパ破壊部が届かない他社製品



HMC (特許技術) ハイδροモーションコントロール

日東造機 CrushBox



SSD/HDD 第二種可燃性金属

保管管理が厳しく規定されています。

類別 性質	品 名	危険物物品の例	指定数量
第二類 可燃性 個体	硫化りん 赤りん 硫黄 鉄粉	硫化りん 赤りん 硫黄 鉄粉	100kg 500kg
	金属粉 マグネシウム その他政令で定めるもの 前各号のいずれかを 含有するもの	第1種可燃性個体 アルミニウム粉 マンガン粉 チタニウム粉 亜鉛粉 マグネシウム粉	100kg
		第2種可燃性個体	500kg
	引火性個体	固形アルコール マグネシウムエチレート	1000kg



日東造機 YES



破碎・粉碎 NG

40℃で引火の危険

